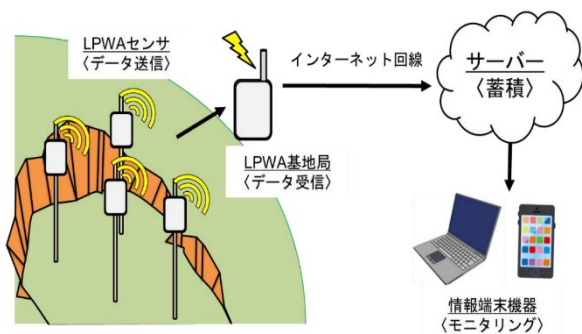
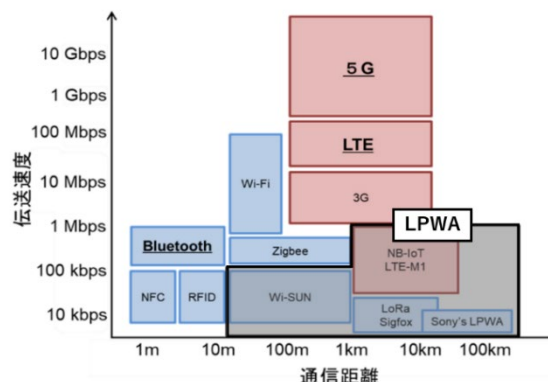


LPWA 規格を用いた傾斜センサによる斜面災害モニタリング

LPWA (Low Power Wide Area) という通信規格を用いて傾斜センサによる斜面のリアルタイムモニタリングを行っています。LPWA の特徴として、省電力で、広範囲に通信することができます。傾斜センサのデータ容量は小さく、山間部に設置されることもあるため非常に親和性の高い技術だと言えます。

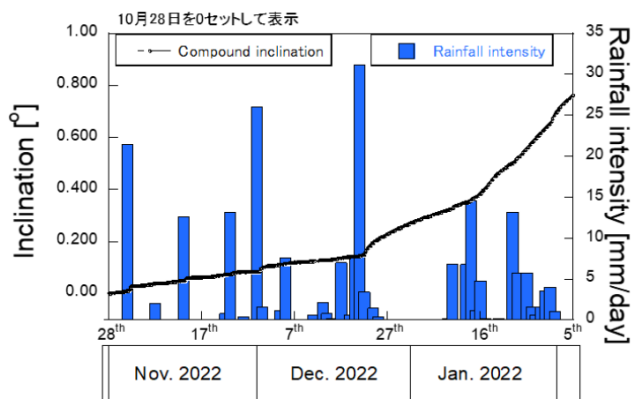


斜面監視システムのイメージ図



LPWA の伝送速度と通信距離

実際の斜面に設置されている様子です。このように傾斜センサを斜面に設置して $1/1000^\circ$ レベルの斜面の変状を観測しています。傾斜センサのデータを解析して右のようなグラフを作成することができます。



傾斜角度と日合計降水量の推移

斜面崩壊を予測する技術として、マスコミ (テレビ) でも注目されています。

